



第169号
発行日
2023年7月26日

編集兼発行
〒020-0866
岩手県盛岡市本宮2丁目35-1
盛岡商業高等学校
新聞編集委員会

印刷所
社隆高速印刷株式会社

体育祭2023~3C総合優勝!~

6月28日から30日の3日間、盛商の一大イベントである体育祭が行われ、生徒たちが友情を育み、この日を楽しく過ごした。直後から、各競技場は活気に満ち、生徒たちの歓声が響きわたった。今年度は1日目にバドミントン、ドッジボール、ソフトボール、2日目に以降に



次世代にバトンを繋いでいくために

生徒会長 3E 小松 拓海

私は、これまで盛商で、様々な先輩方の姿を見てきた。目標や夢を、日々の努力の末、や想いを見てきた。私

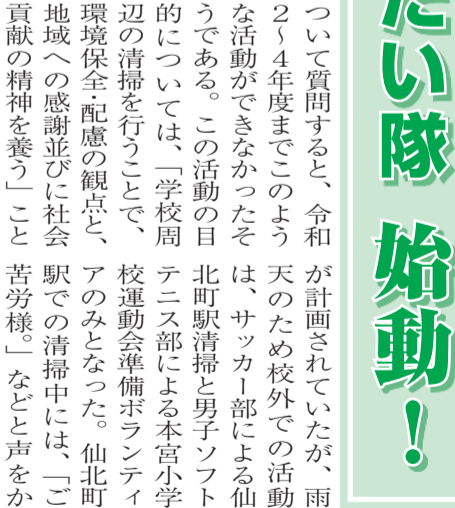
に難関資格の取得や諸大会での優勝を勝ち取る姿を見てきた。先輩方の想いや努力する姿勢は、これから学校行事を盛り上げていくことに全力を注ぎたいと思う。また、学校行事を盛り上げるために必要不可欠な協力が必要不可欠だ。意見箱の活用を通して、全校の皆さんと一緒に行事を成功させた



バスケットボール、バレーボール、サッカー、卓球の日程で競技を行った。皆練習の成果を発揮して一生懸命に競技をした。特に盛り上がったと思う競技は、ドッジボール、バレー、サッカー、バスケットボールの四つだ。女子サッカーはあじくく天気でポツポツに変更になったが、今まで触れたことのない競技だったので新鮮さもあり、3年D組対3年E組の決勝戦は想像以上に盛り上がった。普段は授業や勉強に追われる生徒たちが、日頃の学校生活から一時解放され、笑顔で楽しむ姿が見受けられた。結果は、総合優勝が3年C組。準優勝が3年F組、3位が3年A組だった。また、今年も各クラスで様々なデザインの新Tシャツを作った。それぞれのクラスの個性が出ていて、リレー競技で全校が集まった時にはとてもカラフルで体育祭ならではの非日常感が感じられた。今年度はコロナウイルスによる規制が緩和されたので、おもしろい応援ができた。今年の体育祭を計画する上で工夫について体育祭実行委員会顧問の中村先生は「各競技場のルールを徹底し、競技上での安全を確保し、コロナウイルスによる規制が緩和されたので、おもしろい応援ができた。今年の体育祭を計画する上で工夫について体育祭実行委員会顧問の中村先生は「各競技場のルールを徹底し、競技上での安全を確保し、コロナウイルスによる規制が緩和されたので、おもしろい応援ができた。」と語る。3年生に



競技に出られるように、のよう制限は特に設けられなかった。また、コロナウイルスによる規制が緩和されたので、おもしろい応援ができた。今年の体育祭を計画する上で工夫について体育祭実行委員会顧問の中村先生は「各競技場のルールを徹底し、競技上での安全を確保し、コロナウイルスによる規制が緩和されたので、おもしろい応援ができた。」と語る。3年生に

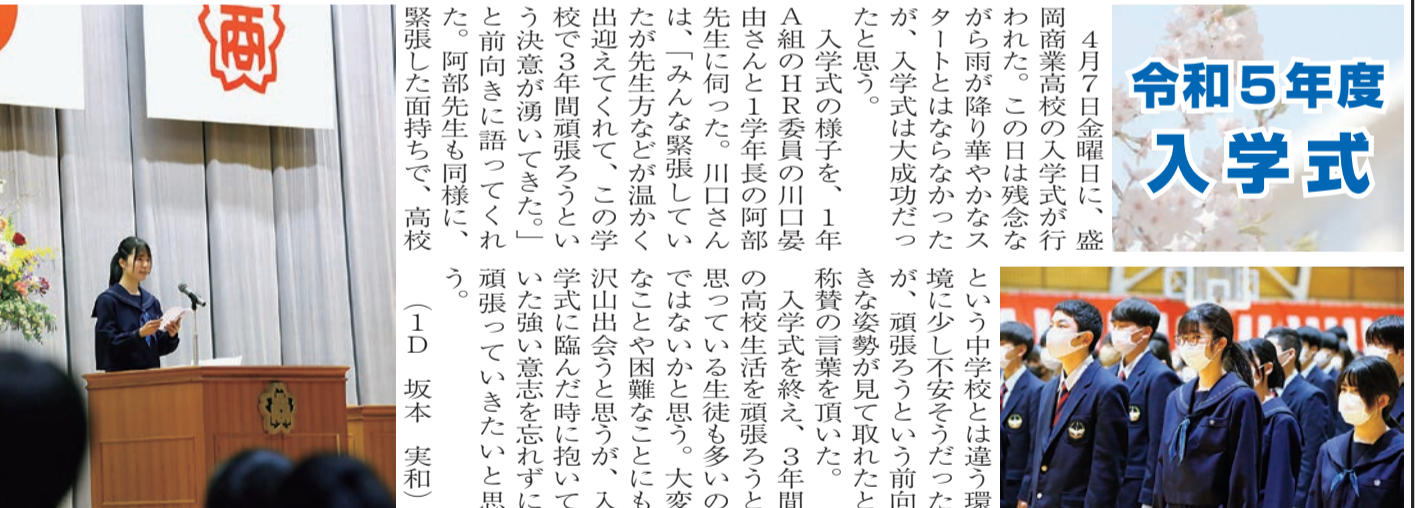


競技に出られるように、のよう制限は特に設けられなかった。また、コロナウイルスによる規制が緩和されたので、おもしろい応援ができた。今年の体育祭を計画する上で工夫について体育祭実行委員会顧問の中村先生は「各競技場のルールを徹底し、競技上での安全を確保し、コロナウイルスによる規制が緩和されたので、おもしろい応援ができた。」と語る。3年生に



競技に出られるように、のよう制限は特に設けられなかった。また、コロナウイルスによる規制が緩和されたので、おもしろい応援ができた。今年の体育祭を計画する上で工夫について体育祭実行委員会顧問の中村先生は「各競技場のルールを徹底し、競技上での安全を確保し、コロナウイルスによる規制が緩和されたので、おもしろい応援ができた。」と語る。3年生に

クラスTシャツコレクション



MORISHO

地域に貢献したい隊 始動!

5月19日に行われた地域清掃・サポイト活動について、今回の活動を企画した花坂由紀先生と、この1週間前から校外清掃活動を行っていたサポイト部顧問の中田洋介先生、お話を伺った。

まず、このような地域清掃は毎年何回か行っているが、花坂先生に伺ったところ、平成21年度からは、平成22年度からは、今年度は、令和4年度までこのように、サポイト部による北町駅清掃と男子ソフトテニス部による本宮小学校運動会準備ボランティアのみとなった。仙北町では、環境保全・配慮の観点から、地域への感謝並びに社会貢献の精神を養うこととして、清掃活動を行うことになった。

次に、中田先生にお話を伺った。地域清掃は、感謝の気持ちを忘れず、常に謙虚な姿勢で、誰からも応援されるチームを目指す活動の一つであり、今回のみならず今後もサポイト部として地域貢献を行いたいということである。

今回、全校生徒による清掃活動、サポイト活動

校応援があり、みんな緊張していたが粘りの野球ができてよかった。」と語っていた。

次に、対戦相手の感想は、「宮城県の強豪校で、110周年を迎えた。これを記念して様々な催しが行われ、6月には、東北高校と野球の交流試合が行われた。生憎の天気だったが、敵の猛攻に臆することなく全力で戦った。竹村さんの野手の姿は、私達を熱気に包んでくれた。」と語った。

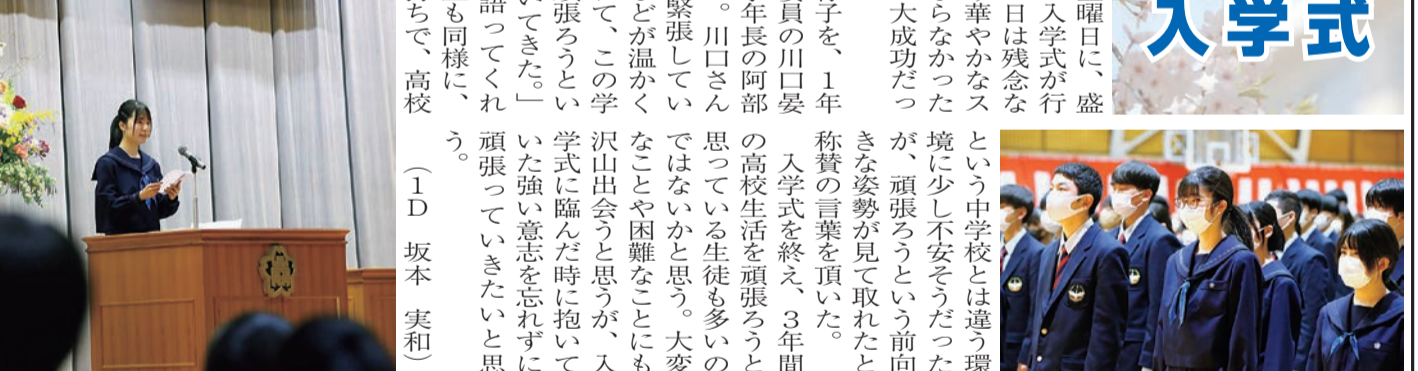
また、野球部主将の竹村陽人さんにインタビューを行った。始めに試合の感想を聞くと「全度でも話し合いを重ね、試合の感想を聞くと」

「コロナによる規制がなくなり、様々なイベントが開催され、人々が活気に満ち始めている。そんな中、盛商は今年で創立110周年を迎えた。これを記念して様々な催しが行われ、6月には、東北高校と野球の交流試合が行われた。生憎の天気だったが、敵の猛攻に臆することなく全力で戦った。竹村さんの野手の姿は、私達を熱気に包んでくれた。」と語った。

また、野球部主将の竹村陽人さんにインタビューを行った。始めに試合の感想を聞くと「全度でも話し合いを重ね、試合の感想を聞くと」

(3D) 笹森 希空

令和5年度 入学式



(1D) 坂本 実和

